

(社)地盤工学会 室内試験規格・基準委員会

「平成18年度 第1回 議事録(案)」

日時	平成18年10月27日(金) 10:30~13:15		場所	地盤工学会会議室	
委員長	後藤 聡		幹事	豊田 浩史	
幹事	川崎 了		委員(WG1)	杉井 俊夫	
委員(WG1)	細野 高康		委員(WG2)	川口 正人	
委員(WG2)	太田 岳洋		委員(WG3)	渡部 要一	
委員(WG3)	山本 肇		委員(WG4)	仙頭 紀明	
委員(WG4)	畠山 正則		委員(WG4)	肥後 陽介	
委員(WG5)	大窪 克己		委員(WG6)	木幡 行宏	
委員(WG7)	三谷 泰浩				

:出席 :出席(電子会議)

議事録担当:豊田

配布資料:

- 資料-18-1-1 平成18年度室内試験規格・基準委員会委員構成
- 資料-18-1-2 刊行WG報告書
- 資料-18-1-3 基準部新旧組織比較図
- 資料-18-1-4 基準部規程
- 資料-18-1-5 平成18年度第1回室内試験規格・基準委員会幹事会(H18.9.1開催)議事録
- 資料-18-1-6 WG2化学特性の活動状況概要
- 資料-18-1-7 WG6ジオシンセティックスメンバー表
- 資料-18-1-8 WG7岩盤不連続面の室内せん断試験方法基準化メンバー表
- 資料-18-1-9 平成18年度第1回WG7岩盤不連続面の室内せん断試験方法基準化(H18.8.23)議事録
- 資料-18-1-10 「土質試験の方法と解説」編集作業工程
- 資料-18-1-11 「土質試験の方法と解説」編集工程
- 資料-18-1-12 平成18年度基準部予算執行状況
- 資料-18-1-13 JISの見直し調査(協力依頼)(日本規格協会 JIS原案作成団体)
- 資料-18-1-14 平成18年度JISの見直し調査、調査票
- 資料-18-1-15 室内試験関係基準 JIS見直し(案)
- 資料-18-1-16 「土質試験の方法と解説」正誤表
- 資料-18-1-17 「土質試験の方法と解説」チェック表
- 資料-18-1-18 室内試験規格・基準委員会およびWGのホームページ
- 資料-18-1-19 委員会活動レビューシート
- 資料-18-1-20 基準部平成18年度事業方針・事業計画
- 資料-18-1-21 基準部平成19年度事業方針・事業計画(案)

## 議 事:

### 1. 自己紹介および当委員会名簿の確認

資料-18-1-1

後藤委員長より、赤本改訂において、1.土と岩を統一的に論じる、2.改訂作業においてはできる限り情報公開していく、という目標が示された。さらに、地盤工学会中長期アクションプランの説明があり、当委員会では、基準類の制定に関して社会貢献およびリーダーシップを取ることが期待されており、今後は5年単位での改訂を推進することが計画目標となっていることが紹介された。

各委員の自己紹介を行い、名簿の確認を行った。

### 2. 当委員会の活動趣旨説明

資料-18-1-2~4

木幡委員より、「学会基準の刊行に関する検討WG」の報告がされた。活動のしやすさを考えて、常設委員会の下にはWGを設置することとした。WGには、基準のメンテナンスを行うものと新規基準を作成するものが存在する。この組織により、5年毎の基準見直しを行えるようにする。今後、出版形態（オンデマンドやダウンロード方式）について検討していく必要がある。

### 3. 平成18年度当委員会第1回幹事会報告

資料-18-1-5

第1回室内試験規格・基準委員会幹事会の報告がされた。次のような意見が出された。

- ・ ISOが絡んでくるものに対しては、JIS規格化を早急に行っておくべきである。
- ・ JIS規格化しても、JGS基準を残しておけば、JGS基準に関しては学会内だけで早急に変更を行えるので便利である。
- ・ 学会基準書（赤本）の販売数を確保するためには、JIS規格書には解説を掲載しないようにする方が望ましい。

### 4. 各WGの活動報告

資料-18-1-6~9

活動中のWGから、活動報告がされた。なお、WGの議事録は、公開できる範囲でよいのでHPに掲載するようにする。WGの判断で、公開用の議事録を作成し、委員長と幹事がこれをチェックすることとする。

WG2（化学特性）：現在、どのような基準作成が可能か検討中である。赤本改訂時に新規基準を掲載できるように活動する予定である。

WG6（ジオシンセティックス）：ISOや他協会との関係を考慮して、メンバー構成を行っている。まだ冊子等で公開されていない基準があるので、早急に対応を考える。

WG7（岩盤不連続面の室内せん断試験方法基準化）：基準検討委員会を1年で終わらせ、現在基準化を行っており、骨子はほぼ出来上がっている。今後、解説についても検討していく。

### 5. 赤本改定に関する検討

資料-18-1-10,11

（スケジュール、方針、運営方法、昨年度の改定WG報告など）

前回（第1回）改訂のときのスケジュールが示された。来年度より見直し（改正、確

認、廃止)などの本格的な作業を行っていく必要がある。今回は年度の最後に出版された。年度の初めが好ましいという意見もあるため、今後意見を伺いながら検討していく。平成 21 年度か 22 年度の初めに出版ということになる。赤本が改訂されたら、「土質試験 - 基本と手引き -」も早急に出版する必要がある。赤本改訂作業と同時進行も考えなければならぬ。データシートについても、従来通り基準書に含める。出版形態については今後検討していく。他機関等から同様な基準や指針が出ている場合があるため、統一化やどちらを使うべきか明白にすべきであるとの意見が出された。

#### 6. 当委員会予算と予算管理

資料-18-1-12

当委員会と関係 WG の今年度の予算配分が示された。今年度は、この範囲内で活動していただく。なお、来年度に関しては、赤本改訂作業が本格化するため、今年度の倍程度の予算を申請する予定である。

#### 7. JIS の見直し

資料-18-1-13~15

5 年以上見直しを行っていない JIS 規格が多数ある。今後見直し作業を行っていくが、室内試験関係では、すべて「確認」を予定していることが報告された。ただし文言の訂正はあるため、担当 WG に確認作業を依頼することもある。

#### 8. 赤本の増刷にともなう訂正箇所の確認作業

資料-18-1-16,17

赤本の在庫が少なく、近日中に増刷を行う。資料の正誤表に示されているように、訂正箇所があるため、今回の増刷時には修正する予定である。担当 WG に修正箇所の確認をお願いすることもある。

#### 9. JGS の HP への当委員会および各 WG 情報の掲載・更新の方法

資料-18-1-18

学会 HP にリンクさせて、当委員会および WG の HP の雛形は作成してある。今後は、各 WG で更新を行うようにする。事務局に依頼すれば、修正も行っていただける。

#### 10. 委員会活動レビューシートの提出

資料-18-1-19

委員会活動を評価するためのレビューシートが示された。当委員会は資料のような内容で提出予定である。今年度は、昨年度の委員会が対象となっているが、来年度は WG にも提出が求められることが予想される。

#### 11. その他

・平成 19 年度事業方針・事業計画(案)の作成について

資料-18-1-20,21

資料にもとづき、平成 19 年度の事業方針・事業計画(案)が示された。WG6 の活動内容を追記することとした。

#### 12. 次回開催日時および場所

グループリーダー案を委員長と幹事で作成する(メール審議)、その後、各 WG のグル

ーリーダーと担当委員でWGメンバーを選出していただく。メンバー案が出そろったら、これを審議する第2回の当委員会を開催する。また、各WGが赤本のどの部分を担当していただくかについても、後日連絡をする。